

# 環境経営レポート (暫定版)

(対象期間：2020年11月1日～2021年1月31日)

発行日 2021年4月13日

改定日 2021年6月18日

長野県松本市和田5511-11

株式会社 



## はじめに

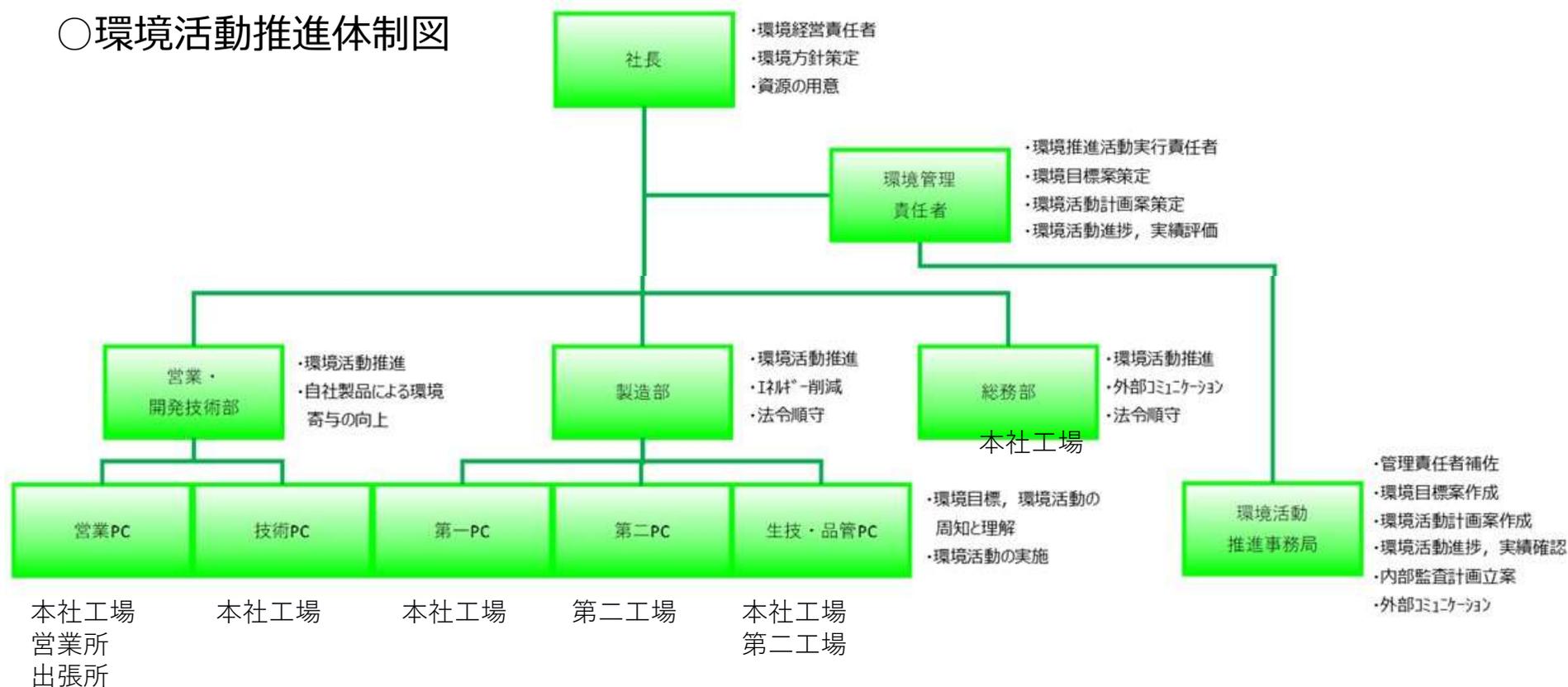
当社は2020年11月1日に環境マネジメントシステムを立ち上げました。このシステムでは当社の事業年度に合わせ、11月1日から10月31日までをひとつの区切りとしていますが、初年度のみ2020年11月1日から2021年1月31日までの3か月間をひとつの区切りとしています。

この「環境活動レポート」は、環境マネジメントシステムを立ち上げてからの3か月間を対象にまとめました。

## 1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

- 事業所名 : 株式会社デリカ
- 所在地 : 390-1242長野県松本市和田5511-11
- 事業活動の内容
  - ・農業用作業機械（インプル）の開発，製造
  - ・トラクタ部品の製造
  - ・大型洗車機フレームの製造
- 事業規模
  - ・資本金 : 95,000千円
  - ・従業員数 : 155人
  - ・生産拠点 : 本社工場(松本市)，第二工場(松本市)
  - ・営業所 : 岡山営業所(津山市)，栃木営業所(栃木市)，熊本営業所(熊本市)，秋田出張所(秋田市)，宮城出張所(大崎市)
- 対象範囲（認証・登録範囲）  
全組織における活動を対象としています

○環境活動推進体制図



担当	所属	氏名	連絡先
環境管理責任者	取締役 製造部長	山口 義雄	0263-48-1181
環境活動推進事務局担当	製造部 品質管理グループ	小松 享彦	0263-48-1181

## 2. 環境経営方針

地球環境の保全・汚染の予防が世界共通の最重要課題であることを深く認識し、有機農業を応援・推進する活動を通じて、可能な限り地球環境の維持・向上に全員参加で努めてまいります。具体的には次のことを実施します。

1. 製品の開発・設計・製造・販売において、省資源・省エネルギーを推進し、廃棄物の削減に努めます。
2. 人類の安全・安心と地球環境のために、循環型有機農業を応援する作業機の提供を行うとともに、農業従事者の省力化を通して環境経営を実践します。
3. 環境に関わる法規制、その他の要求事項を遵守します。
4. 継続的に改善し、環境の保全・汚染の予防に努めます。
5. SDGs の達成に向け、事業を通じて世界共通の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。
6. 本方針はエコアクション 21 により実施し、全従業員に周知徹底します。

2020年11月1日

株式会社**デリカ**

代表取締役社長 金子孝彦

### 3. 環境目標及び環境活動計画とその達成状況

#### ○環境目標

当社事業年度の67期を基準年として次の環境目標を設定しました。

環境指標(単位)	基準年実績	目標値		
	67期 (2018/11 -2019/10)	69期 (2020/11 -2021/10)	70期 (2021/11 -2022/10)	71期 (2022/11 -2023/10)
CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	944,703	935,256(-1%)	925,809(-2%)	916,362(-3%)
電力(MWh)	1,253	1,240(-1%)	1,228(-2%)	1,215(-3%)
LPG使用量(kg)	65,812	65,154(-1%)	64,496(-2%)	63,838(-3%)
軽油使用量(L)	40,598	40,192(-1%)	39,786(-2%)	39,380(-3%)
ガソリン使用量(L)	29,224	28,932(-1%)	28,640(-2%)	28,347(-3%)
産業廃棄物(kg)	62,720	62,720(維持)	61,466(-2%)	60,211(-4%)
一般廃棄物(kg)	22,800	22,344(-2%)	21,888(-4%)	21,432(-6%)
水使用量(m <sup>3</sup> )	5,504	5,504(維持)	5,504(維持)	5,504(維持)
灯油使用量(L)	3,330	3,330(維持)	3,330(維持)	3,330(維持)
循環型有機農業 支援機器拡販 (販売計画達成率%)	93.6%	100%	100%	100%
PRTR化学物質使用 量定期監視(1回/年)	—	定期監視1回	定期監視1回	定期監視1回
法令順守率(%)	—	100%	100%	100%
EMSの構築・維持	—	ISO14001:21取得	←認証維持	←認証維持

## ○環境活動計画と取組の結果

項目	目標値	実施項目	取り組み結果	評価
電力(MWh)	1,240(-1%)	(1)トイレ照明節電促進 (2)エアコン使用適正化 (3)ホール盤不使用時スピンドル停止 (4)手組み用モータ稼働時間最適化 (5)コンプレッサ運転効率化(エアもれ修理) (6)電力量の監視, 集計 (7)塗装工程電力量の現状把握	(1)消灯呼びかけステッカーを作成し貼り付け (2)エアコン使用基準(期間、設定温度等)を掲示 (3)スピンドル停止呼びかけステッカーを作成し貼り付け (4)検討中 (5)工場内エア漏れ箇所を随時修理 (6)1回/月 電力量集計 (7)1回/月 電力量集計	計画通り ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
LPG使用量(kg)	65,154(-1%)	(1)事務所冷暖房効率化 (2)工場遠赤暖房効率化 (3)LPガス購入量の監視, 集計	(1)エアコン使用基準(期間、設定温度等)を掲示 (2)遠赤暖房使用基準(期間、設定温度等)を掲示 (3)1回/月 LPガス購入量集計	↑ ↑ ↑
軽油使用量(L)	40,192(-1%)	(1)エコ運転促進	(1)エコ運転呼びかけステッカーを作成し貼り付け	↑
ガソリン使用量(L)	28,932(-1%)	(2)軽油, ガソリン購入量の監視, 集計	(2)1回/月 経由・ガソリン購入量集計	↑
産業廃棄物(kg)	62,720(維持)	(1)再利用促進 (2)産業廃棄物排出量の監視, 集計	(1)検討中 (2)1回/月 産業廃棄物排出量集計	↑ ↑
一般廃棄物(kg)	22,344(-2%)	(1)分別の徹底 (2)一般廃棄物排出量の監視, 集計	(1)分別呼びかけステッカーを作成し貼り付け (2)1回/月 一般廃棄物排出量集計	↑ ↑
水使用量(m3)	5,504(維持)	(1)節水の徹底 (2)水使用量の監視, 集計	(1)節水呼びかけステッカーを作成し貼り付け (2)1回/月 水使用量集計	↑ ↑
灯油使用量(L)	3,330(維持)	(今期活動なし)	—	↑
循環型有機農業支援 機器拡販(販売計画 達成率%)	100%	(1)QMSによる推進結果確認	(1)1回/月 販売計画達成率集計	↑
PRTR化学物質使用 量定期監視(1回/年)	定期監視1回	(1)新規化学物質の採用有無確認 (2)環境負荷自己チェックシート更新	(1)2021/10月末集計予定 (2)↑	↑ ↑
法令順守率(%)	100%	(1)環境関連法規制順守評価 (2)切粉台車の漏洩防止 (3)廃棄物中間・最終処理業者現場確認	(1)環境関連法規制遵守評価実施 (2)切粉台車の漏洩防止実施 (3)現場確認計画中	↑ ↑ ↑
EMSの構築・維持	エコアクション21 取得	(1)EMSの全社員周知 (2)環境コミュニケーション-内部コミュニケーション (2)環境コミュニケーション-外部からの苦情、要望 (3)環境レポート作成 (4)緊急事態訓練 (5)文書レビュー (6)内部監査計画立案と実施 (7)マネジメントレビュー (8)認証審査 申込→審査→認証	(1)全社朝礼, 掲示板, 回覧にて周知 (2)社内会議に参加し報告、情報共有 (2)社内会議に参加し情報収集 (3)環境レポート作成 (4)2020/11月緊急事態訓練実施 (5)随時実施している (6)内部監査計画を立案し2021/2月に実施 (7)2021/2月マネジメントレビュー実施 (8)2021/4月審査受審予定	↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

各項目について実施項目を決め、年間の活動計画を立て、計画どおりに推進しています。

## ○環境目標の達成状況と今後の取り組み

項目	目標値		2020/11月～ 2021/1月実績	評価	課題・今後の取り組み
	年間	2021/1月時点			
CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	935,256(-1%)	233,814	273,208	×	第二工場立ち上げと増産による電力増加でCO <sub>2</sub> も増。 今後も排出量を把握し来期に目標値を再検討する。
電力(MWh)	1,240(-1%)	310	377.5	×	同上
LPG使用量(kg)	65,154(-1%)	19,883	19,487	○	年間目標達成に向けエアコンの適切使用を継続
軽油使用量(L)	40,192(-1%)	7,208	8,537	×	社用車の増加があった。今後も使用量を把握し
ガソリン使用量(L)	28,932(-1%)	6,251	7,191	×	来期に目標値を再検討する。
産業廃棄物(kg)	62,720(維持)	12,820	26,605	×	第二工場立ち上げ・移管(12月～1月)に多量の廃棄物 が発生。廃棄物量を引き続き集計し来期に目標値を再 検討する。
一般廃棄物(kg)	22,344(-2%)	5,586	2,792	○	事業ごみ(プラ)や資源ごみの分類徹底により大きく削 減できた。引き続き廃棄物量を把握し来期に目標値を 再検討する。
水使用量(m <sup>3</sup> )	5,504(維持)	1,396	1,406	○	今期の取り組みを継続し、手洗い時の節水を呼び掛け る
灯油使用量(L)	3,330(維持)	1,590	2,130	×	今後も使用量を把握し年間での増減を確認する。
循環型有機農業支援機器 拡販(販売計画達成率%)	100%	100%	118%	○	年間目標達成に向け今期の拡販の取り組みを継続
PRTR化学物質使用 量定期監視(1回/年)	定期監視1回	—	—	—	期末にPRTR化学物質の今期の使用量を調査する
法令順守率(%)	100%	100%	100%	○	今後も法令順守を継続する
EMSの構築・維持	エコアクション21取得	—	—	—	エコアクション21登録審査を受審し認証取得と継続的 改善を行う

 ※電力のCO<sub>2</sub>排出係数

- ・本社工場・第二工場 : 0.452kg-CO<sub>2</sub>/kWh(中部電力(株)・調整後・2018年度)
- ・岡山営業所 : 0.585kg-CO<sub>2</sub>/kWh(中国電力(株)・調整後・2019年度)
- ・熊本営業所 : 0.371kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力(株)・調整後・2019年度)

#### 4. 環境関連法規等の遵守状況、違反・訴訟等の有無

当社の事業活動に関連する主な環境関連法規等は下記のとおりです。  
 2021年2月2日、遵守状況の確認を行い、下記の通り違反はありません。  
 過去3年間に関係当局からの違反等の指摘および利害関係者からの訴訟はありません。

法規制等の名称	該当する要求事項（対応すべき事項）	該当する設備・項目	順守評価	
			証拠	判定
廃棄物処理法	一廃収集業者の許可の確認	一般廃棄物	市許可業者利用	○
	産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	産業廃棄物	業者許可番号確認	○
	法定掲示板、飛散・浸透防止、衛生管理		現場確認	○
	マニフェスト交付、回収期日の遵守		台帳にて確認	○
	マニフェスト交付状況報告書の定期提出		2020/5/28報告書提出済	○
	処理の状況について確認の努力義務		中間/最終業者の現定期確認	現地確認を69期計画に入れ計画中
下水道法	・特定施設の届け出 ・公害防止管理者の選任・届出	塗装前処理(酸・珪加表面処理特定施設)	届出書、記録	○
水質汚濁防止法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届出	油類の保管 有害物質の取り扱い	事故無し	○
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による適切な引き渡し	業務用空調機	廃棄実績なし	○
	製品の表示	インプル（A/C仕様）製品	専用スリッカー作成し貼り付け	○
	第1種特定機器法定点検 (簡易点検・定期点検)	定期点検：本社GHPIアロン、2工場事務所 アロン、2工場工場アロン 簡易点検：上記、本社/2工場スリッカー	定期点検 本社'20/11済。2工場'22年予定 簡易点検 本社'20/12済。2工場'21/3予定	○
PRTR法	第1種指定化学物質排出・移動量報告 年間取扱量1トン以上の場合)	化学物質一覧による	1t/年以上の対象物質取扱なし。 環境負荷自己チェックシート	○
毒物及び劇物取締法	盗難/漏洩防止、容器、貯蔵場所に表示	硫酸、塩酸	鍵をかけて保管	○
	事故・盗難時届出（警察など）	硫酸、塩酸	事故無	○
高圧ガス保安法	第一種製造所の許可	炭酸ガスタンク(CE)第一種製造所	第一種製造所許可済	○
	危害予防規程の作成と遵守		危害予防規程届け出済	○
	保安監督者選任		保安監督者を選任	○
	保安検査		協会による検査	○
	自主検査		検査記録確認	○
危険物	指定数量未満の危険物保管の扱い	灯油、軽油	現場観察	○

## 5. 代表者による全体の評価と見直し、指示（マネジメントレビュー）

### <全体の評価>

#### ◇環境活動計画

- ・実施状況と結果は計画どおりに実施している

#### ◇環境目標の達成状況

- ・CO<sub>2</sub>排出量が目標未達。第二工場の立ち上げ（拠点追加）という大きな変化があり、電力が増えている。今期増産傾向にあることも電力増の要因になっている。
- ・灯油の使用量が増加している。引き続き使用量を集計して現状把握する。
- ・廃棄物量は産業廃棄物が目標を大幅に超えている。第二工場の立ち上げ、本社工場の工程再編を今期行ったため、産業廃棄物が一時的に多く発生した。  
一般廃棄物は大幅に減少しており、分別が徹底された効果が出ている。

#### ◇環境関連法規遵守状況

- ・環境関連法規の遵守評価結果、違反はなく遵守している。

#### ◇外部からの環境に関する苦情や要望

- ・これまでに外部からの環境に関する苦情や要望はない

#### ◇内部監査結果

- ・2021年2月に内部監査を行い、環境マネジメントシステムが有効に機能していることを確認した。

### <見直し・指示>

#### ◇環境方針

: 変更の必要なし。SDGsの達成にむけた取り組みを積極的に行う。

#### ◇環境目標及び活動計画

: 第二工場立ち上げ、本社工場の工程再編という変化があった。  
今期は確実なデータ収集を継続し、その結果をふまえ来期は新たな目標と計画をたてる必要がある。

#### ◇実施体制

: 変更の必要なし

2021年2月25日  
代表取締役社長  
金子孝彦

## 6. 環境活動への取り組み事例の紹介

(1) 全社員に向けた環境教育を、2020年11月の環境活動開始に合わせ全社朝礼で行いました。当社の環境への負荷の自己チェックの結果を分析、見える化し、エコアクション2.1の概要とともに資料化し教育を行いました。

<教育資料（抜粋）>

1/13

### エコアクション2.1全社環境教育 69期 環境活動への取り組み

- ・エコアクション2.1とは
- ・環境活動の必要性
- ・環境方針
- ・環境目標
- ・活動内容
- ・課題推進計画
- ・皆さんにお願い

2020/11/16 全社朝礼 環境部長 環境活動推進室長 (ISO事務局)

5/13

### 67期環境活動への取り組み

・環境目標  
①CO2排出量（エネルギー使用量）

○電気が全体の60%で断トツに多いー最優先課題  
○電気、LPガス、軽油、ガソリンで全体の99%  
→削減に取り組む  
○まずはー1%を削減目標とする

エネルギー	使用量	CO2換算 (kg-CO2)	割合	主な用途
電気	1,253,173 (kWh)	566,434	60.0%	設備、照明、冷蔵庫
LPガス	65,812 (kg)	197,435	20.9%	ボイラー、エアコン
軽油	40,598 (L)	104,742	11.1%	社用車、インフラ
ガソリン	29,224 (L)	67,801	7.2%	社用車
灯油	3,330 (L)	8,292	0.9%	機器器具
合計	—	944,703	100.0%	—

電気の125万kWhは600Wの電子レンジ8台で約710年分

6/13

### 67期環境活動への取り組み

・環境目標  
②廃棄物

○木くずが最も多い(約40t) 発生源は木枠、木パレ  
→7.1期までにリサイクル化を検討する  
○可燃ごみも多い(約20t)  
→プラ、リサイクル紙など分類の徹底で2%削減する。

種類	排出量 (kg)
可燃ごみ	22,800
紙、段ボール	不明
廃材、木くず	39,170
廃油、汚泥	14,080
廃機、金属くず	6,450
廃棄、プラ	2,220
在庫、廃油	800

11/13

### 67期環境活動への取り組み

・皆さんにお願い

※別に記載してください

リサイクル品

- ・紙類、紙パック類
- ・PETボトル類
- ・PETボトル類
- ・PETボトル類

エコドライブに努めましょう

- ・急加速、急減速しない
- ・法定速度を守る
- ・ECOモードはON
- ・アイドリングは厳禁

CO2削減にご協力ください

ごみ袋を適切にご協力を

- ・適量時袋満了してご協力
- ・ついでにゴミを捨ててご協力

節水に心がけましょう

- ・おしぼりにお水をためてご協力
- ・歯を磨くときお水を止めてご協力
- ・お風呂の残り湯を有効にご協力ください

13/13

### 67期環境活動への取り組み

エコアクション2.1の環境活動を通じてSDGsに取り組みます

SDGs(持続可能な開発目標)とは  
社会が抱える課題を解決し、世界全体で2030年を目指して  
明るい未来を作るための17のゴール。

## 6. 環境活動への取り組み事例の紹介

(2) 環境への取り組みを全社員に周知、啓発するためにステッカーを作成し、社内のごみ箱や照明スイッチ、社用車等に掲示しました

### <作成したステッカー>



(3) 環境に関する特定業務の教育資料を作成し、対象従事者に回覧して教育を行いました。教育資料は特に「シンプルなこと」「判りやすいこと」に重点を置き、対象従事者の教育受講の負担を最大限に減らしました。



## 7. SDGsへの取り組み

株式会社デリカは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。地球環境の保全・汚染の予防が世界共通の最重要課題であることを深く認識し、有機農業を応援・推進する活動を通じて、可能な限り地球環境の維持・向上に全員参加で努めてまいります。

SDGsの達成に向け、事業を通じて世界共通の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

